

性にかかわらず誰もが自分の能力を発揮できるように（第2版） ～ ジェンダー平等を実現しよう ～

鳥取県教育委員会

教職員には、児童生徒等の心の痛みに気づき、互いの人権が尊重されているかを判断できる確かな人権感覚が求められており、教育活動や日常の生活場面の中で、言動に潜む決めつけや偏見がないかを繰り返し点検し、自らの人権意識を絶えず見つめ直す必要があります。

以下の各項目に答えながら、ご自身の男女共同参画意識や固定的な性別役割分担意識について振り返ってみましょう。

☞ あなたはどう思いますか。そうだなと感じるものに○をつけてみましょう。

質問項目	回答欄
① 荷物を運ぶときなど体力的にハードな役割は男子が行うべきだと思う。	
② 女子には「得意料理は何？」と聞くことがあっても、男子にはあまり聞かない。	
③ 入学式の受付担当には、女子に依頼することが多い。	
④ 水泳の授業の際に、男子がラッシュガード着用を希望すると違和感を覚える。	
⑤ 運動会では、組体操は男子、ダンスは女子の花形種目である。	
⑥ 男子が泣いていると、「男子はいつまでも泣くものじゃない」と思う。	
⑦ 男子が身なりを気にしたり、おしゃれに気がつかったりするのはおかしいと思う。	
⑧ 男子は計算能力に長けていて、女子は文章の表現力に長けていると思う。	
⑨ 部活動のマネージャーは、女子の方が向いていると思う。	
⑩ 女子が建設業や運送業などの進路選択をすると、大変だなと感じる。	

①から⑩の質問項目には、固定的な性別役割分担意識が隠れています。○をつけた質問項目や悩んだ質問項目をもう一度見直してみましょう。そして、それぞれの内容を行動化することで、誰かの権利が奪われることはないか、想像力を働かせながら考えてみましょう。



先生方へのアンケートの実施は、ジェンダー平等の第一歩！



回答された年代、性別などの個人の特性や経験してきた校務分掌等の組織の特性により、質問項目への回答状況にちがいがみられる傾向にあります。自校の先生方へのアンケートを実施することで、教職員「集団」としての固定的な性別役割分担意識の傾向が見えてきます。そして、結果を振り返ることを通して、これまでの教育活動の「当たり前」について捉え直すとともに、性にかかわらず誰もが自分の能力を発揮できる教育環境を創り出すことができます。

< 男女共同参画に関する教育の推進のために > ～ アンコンシャス・バイアスの視点から考えましょう～

鳥取県教育委員会

アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見や思い込み）とは？

《アンコンシャス・バイアス》

アンコンシャス・バイアスとは、「過去の経験」や「見聞きしたこと」に影響を受けて、無意識のうちに（知らず知らずのうちに）、「きっと、こうだ」と思い込んでいることや、偏ったものの見方をしていることを示しています。アンコンシャス・バイアスは、日常生活にあふれていて、誰にでもあるものです。無意識であるため気づきにくいものですが、意識をすることで、ものの見方や考え方がより豊かになります。
(※内閣府男女共同参画局『共同参画』2021.5 より引用)

アンコンシャス・バイアスは、誰にでもあるものです。

アンコンシャス・バイアスは誰にでもあるものであり、あること自体が問題というわけではありません。しかし、アンコンシャス・バイアスに気づかずにいると、そこから生まれた言動が、無意識のうちに、誰かを傷つけたり、自分自身の可能性を狭めてしまったりする等の様々な影響があるため、注意が必要です。

たとえば、前ページの⑥に関連して、「男子はいつまでも泣くものじゃないよ」と声をかけたとしましょう。「男子らしく強くあって、早く立ち直ってほしい」という教職員側の願いによって、投げかけられた言葉かもしれないませんが、言葉を受け取る児童生徒等の立場からすると、「男子」という属性による価値観（例えば、強くあるべき等）によって一人一人の思いが抑圧される可能性があります。併せて、そうした価値観に基づく言動が日々の教育活動の中で行われた場合、その改められるべき価値観が改められないまま、「隠れたカリキュラム」として、児童生徒等がその言動を無意識のうちに学んでしまう可能性があります。

アンコンシャス・バイアスを解決するために…



対処法1：決めつけない、押しつけない

「普通そうだ」「こうあるべきだ」といった、決めつけや押しつけが挙げられます。何事に対しても決めつけないこと、一人一人と対話すること、相手を尊重することなどが大切です。



対処法2：相手の表情や態度の変化など「サイン」に注目する

「急に表情が曇った」「声のトーンが変わった」「目線が合わなくなった」などのサインへの感度を高くし、「自らのアンコンシャス・バイアスによる言動が、相手を嫌な気持ちにさせたかもしれない」と、立ち止まって考えてみましょう。そして、自らの言動を振り返るとともに、相手を気遣う言動を大切にしましょう。



対処法3：自己認知

アンコンシャス・バイアスの正体は「自己防衛心」です。脳が無意識のうちに自分にとって都合のよい解釈をすることによって起きています。自然の摂理であり、完全に払しょくすることはできません。だからこそ、大切なことは、アンコンシャス・バイアスに気づこうと、ひとりひとりが意識することです。

(※内閣府男女共同参画局、『共同参画』2021.5 より引用)